様式1-1.1

西暦　　　年　　月　　日

臨床研究分担者リスト

倫理審査委員会委員長　殿

研究責任者（研究代表者）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究機関名 |  |
| 所属 |  |
| 氏名 |  |

下記の研究において、下に示す者を研究者等として申請いたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名 |  |

**研究責任者（研究代表者）・研究者等の氏名、及び利益相反に関する確認状況、教育・研修記録**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 役割 | 氏　名 | 所属又は職名 | 利益相反状況\*1 | 教育・研修 |
| 内　容\*2 | 受講日\*3 |
| 研究責任者（研究代表者） |  |  | □確認済 | □機関内開催研修会 □e-learning□その他（　　） | /　/ |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □機関内開催研修会 □e-learning□その他（　　） | /　/ |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □機関内開催研修会 □e-learning□その他（　　） | /　/ |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □機関内開催研修会 □e-learning□その他（　　） | /　/ |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □機関内開催研修会 □e-learning□その他（　　） | /　/ |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □機関内開催研修会 □e-learning□その他（　　） | /　/ |

|  |  |
| --- | --- |
| 特記事項\*4 | □なし　　□あり（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

\*1：利益相反状況の確認は、所属機関の利益相反管理の方針に従うこと。なお、所属機関において利益相反確認が倫理審査後に規定される等の理由により、申請時点における利益相反確認が未済である場合は、その旨を特記事項に記載すること。（当該利益相反確認において研究計画書及び説明文書等への利益相反状況の記載が必要とされた場合は、別途変更審査を行う必要がある。）

\*2：教育・研修の形態としては、各々の研究機関内で開催される研修会や、他の機関（学会等を含む。）で開催される研修会の受講、e-learning（例：ICR-Web、臨床試験のためのe-Training center、eAPRIN）などが考えられる。なお、教育・研修の内容は、受講者全てに画一的なものとする必要はなく、その業務内容に応じた適切なものとすることが望ましいため、適当かどうかも含めて研究責任者が判断する。

\*3：少なくとも年に１回程度は教育・研修を受けていくことが望ましい（「生命科学・医学系指針 第４の２ ガイダンス」参照）。

\*4：申請にあたっての特記事項の有無を記載する。

注）利益相反に関する書類、教育記録は保管し、倫理審査委員会が必要とした場合は提出する。